

専攻医評価・臨床研修手帳・ 指導医認定について

西屋 克己

生涯教育・専門医育成委員会

専攻医評価 臨床研修手帳

3年間の評価の流れ

時期		評価方法
1年目	9月頃	Mini-CEX (指導医、形成)
	3月頃	Mini-CEX (指導医、形成) 360度評価 (多職種、形成)、振り返り・マイルストーン (指導医、形成)
	年度末	総括評価 (進捗状況・中間評価) (研修プログラム管理委員会)
2年目	9月頃	Mini-CEX (指導医、形成)
	3月頃	Mini-CEX (指導医、形成) 360度評価 (多職種、形成)、振り返り・マイルストーン (指導医、形成)
	年度末	総括評価 (進捗状況・中間評価) (研修プログラム管理委員会)
3年目	9月頃	Mini-CEX (指導医、形成)
	3月頃	Mini-CEX (指導医、形成) 360度評価 (多職種、形成)、振り返り・マイルストーン (指導医、形成)
	年度末	総括評価 (最終評価・修了認定) (研修プログラム管理委員会)
4年目	9月	小児科専門医試験 (筆記、面接、症例、論文)



IV | 臨床現場での評価

Mini-CEX

Mini-Clinical Evaluation Exercise (診療能力評価)
2017年度以降に研修開始した方は、**[表2-1]**、指導医と相談し、指導医に記載してもらうことが**[義務]**となりました。

360度評価

2017年度以降に研修開始した方は、**[表2-1]**、指導医と相談し、複数名の多職種に記載してもらうことが**[義務]**となりました。
[記載した評価表は専攻医へ渡さず、研修管理委員会へ提出してください]

DOPS

記載義務はありませんが、自分の診療技術を指導医に見てもらい、アドバイスを受けることで能力向上に役立ててください。

Mini-CEX, DOPS, 360度評価の方法については日本小児科学会HPのJPSオンラインセミナーを参照してください。
360度評価の用紙も、こちらからダウンロードしてください。

Mini-CEX

Mini-Clinical Evaluation Exercise

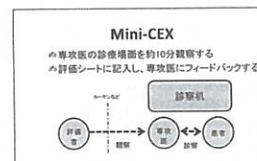
診察場面を観察し、具体的、客観的に評価する評価表

- 10分の観察、5分のフィードバックで可能
- 終了後に研修医が自分への評価として保存できる
- 米国内科学会が開発、欧米を中心に使用されている

小児科学会では年2回、3年間で6回行うことを目安にしている

Mini-CEX: Mini-Clinical Evaluation Exercise

- ① 専攻医の診察場面を指導医が観察し、診察能力の評価を行って記載します。
 - ② 観察と記載が終わったら、良い点・改善点などのフィードバックを行います。
- 総括評価（合否判定）が主目的ではなく、研修中の形成評価として用いますが、回数を重ねると総括評価の参考になります。
 - 年2回、3年間で6回が目安となります。
 - 施設独自の評価用紙を用いた場合は、縮小コピーして余白ページに貼付してください。



DOPS: Direct Observation of Procedural Skills

- ① 専攻医の診療技能を指導医が観察し、評価を行って記載します。
 - ② 観察と記載が終わったら、良い点・改善点などのフィードバックを行います。
- 総括評価（合否判定）が主目的ではなく、研修中の形成評価として用いますが、回数を重ねると総括評価の参考になります。
 - 難易度の高い手技、従業性の高い手技は、繰り返し評価を行い、単独で行ってもよいかの判断材料に使用できます。
 - 施設独自の評価用紙を用いた場合は、縮小コピーして余白ページに貼付してください。

Mini-CEX: 診察能力評価（1年目）

以下の項目に◎を記入してください。

専攻医氏名: _____
 病歴名/科: _____
 臨床設定: 一般外来 救急外来 病棟 その他()
 疾患/症候: _____
 診療の焦点: 診断 説明 その他()
 症例の難易度: 易 平均 難

以下の評価をお願いします。

A:非常に優れている B:優れている C:やや劣る D:劣る N:評価不能

	A	B	C	D	N
1 病歴聴取	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 診察	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 コミュニケーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 臨床判断	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 プロフェッショナリズム	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 効率(まとめる力)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 総合判定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

良かった点

 改善すべき点

 レベルアップのための合意した行動

 評価者署名 _____ 日付 _____
 評価者が経験した Mini-CEX の数: 0 1-4 5-9 10以上

360度評価

360度評価とは、臨床現場で専攻医とともに診療をたずさわっている複数かつ多職種の評価者による評価。

- 手順
- ① 評価者を選ぶ（複数が望ましい）
 - ② 評価者に360度評価の目的、方法を理解してもらう
 - ③ 評価表を配布して評価してもらう（年1回）
 - ④ 研修管理委員会が回収して分析し、専攻医の評価・フィードバックに用いる（総括評価の参考とする）

小児科専攻医 360度評価表

日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日

専攻医名 _____ 評価者名 _____ 職種 _____
 病歴名 _____

該当する欄にチェック(✓)を入れて下さい (Nは評価機会がない場合、職種として評価できない場合を含む)

	A よく できる	B できる	C 少し 足りない	D できない	N 評価不能
1. 小児科医としての総合的な臨床能力					
臨床手技の能力、現場での様々な配慮					
重症度・緊急度の判断、適切な対応					
患者・家族とのコミュニケーション、信頼関係構築					
心理社会的側面への配慮					
知覚的時間配分					
社会・医療制度の精通と活用(制度、多専門職)					
2. 小児保健・育児支援の姿勢					
健康診査、予防接種活動の理解と推進					
健康増進活動、療養指導、育児支援の理解と関与					
3. 子どもの代弁者としての姿勢					
患者・家族の思いを診療に反映する姿勢					
患者の社会生活への配慮と支援					
4. 学習を積み、探求する姿勢					
最新の情報を常に学習とする姿勢					
検討会、研究会等への積極的参加、成果の発表					
5. 医師としてのプロ意識					
同僚とのコミュニケーション・チームワーク					
多専門職を尊重する姿勢					
リーダーシップ					
同僚・多専門職を教え、共に学ぶ姿勢					
自己の限界の認識(適切な相談)					
自己のストレス・健康管理					
6. 概略評価					
総合的に判断して評価して下さい					
優れている点(自由記載)	_____ _____ _____				
気になる点(自由記載)	_____ _____ _____				

マイルストーン

医師としての能力を、到達段階のレベルごとに具体的に記載したものを。小児科専門医の5つの医師像の達成状況を評価するため、小児科研修マイルストーン評価表をもとに、指導医と専攻医とで振り返りを行い、研修手帳に記載していく。

マイルストーンの基準

	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
マイルストーンの基準 (能力の要素)	小児科専門医更新時の能力レベル	小児科専門研修修了時の能力レベル	初期研修修了時の能力レベル	学生実習修了時の能力レベル (認知レベルを含む)
	(優れた小児科専門医)	(標準的な小児科専門医)	(初期研修修了者)	(医学部卒業生)



I 子どもの総合診療医 1：子どもの総合診療

能力の要素	LEVEL A	LEVEL B	LEVEL C	LEVEL D
子どもの年齢・臓器の特性、家族背景、心理・社会的要因の考慮	複雑・特殊な要因もすべて十分に考慮できる	一般的な要因をすべて考慮できる	十分ではないが、要因を考慮できる	指導医の援助があれば考慮の必要性を認識できる
患児・家族とのコミュニケーション、信頼関係の構築	十分かつ適切で効果的に構築できる	適切に構築できる	十分ではないが、構築できる	指導医の援助の上で構築できる
病歴聴取、診察、検査、鑑別診断、治療の適切な実践	十分かつ適切で効果的に実践できる	適切に実践できる	十分ではないが、基本的実践ができる	指導医の援助の上で基本的実践ができる
エビデンスの適用 (EBM)、患者家族が語るナラティブの尊重 (NBM)	複雑・稀な病態に対しても、適切なエビデンスの適用と、十分なナラティブの尊重ができる	一般的・重要な病態に対して、適切なエビデンスの適用と、十分なナラティブの尊重ができる	十分ではないが、エビデンスの適用とナラティブの尊重ができる	EBMとNBMの必要性を認識できる
指導医・他の専門職へのコンサルテーションと社会資源の活用	複雑・稀な病態に対しても、適切に実践できる	一般的・重要な病態に対して、適切に実践できる	指導医の援助があれば、適切に対応できる	指導医の指示で、単純な対応ができる

1年目 ●-----● 2年目 ●-----● 3年目 ●-----●

指導医認定

日本小児科学会の指導医像

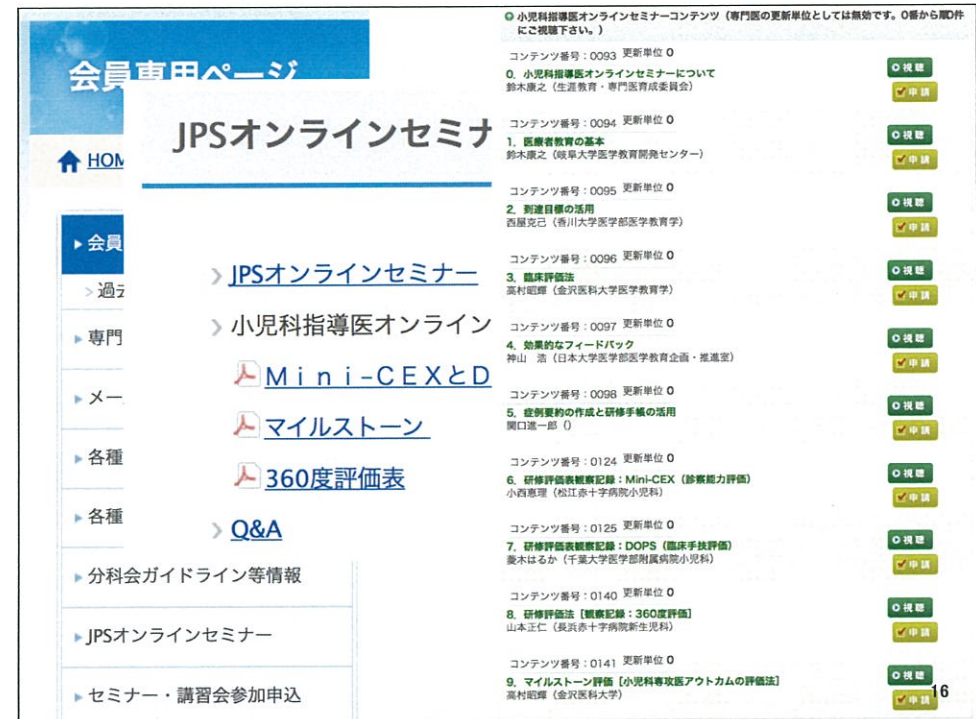
- **小児科専門医としての高い診療能力**
(到達目標レベルB以上)
- **医療人としての優れた資質**
(コミュニケーション力、省察、傾聴・共感、公平性、柔軟性)
- **指導者としての優れた能力**
(プログラム構築、研修指導法、評価法、ロールモデル)

認定小児科指導医の認定要件

- 専門医資格を1回以上更新
(指導医の初回認定 = 専門医の初回更新時)
- 下記研修のいずれかを受講
 - 小児科医のための臨床研修指導医講習会
 - 小児科指導医オンラインセミナー
- 小児科関連論文を1編以上
 - 査読制度のある雑誌、申請前5年間
 - **2017年度以降：筆頭もしくはcorresponding author**
- 申請時期：年1回 3月

認定小児科指導医の更新要件

- 専門医の更新にあわせて5年ごとに更新する
下記研修のいずれかを受講
 - 小児科医のための臨床研修指導医講習会
 - 小児科指導医オンラインセミナーNo.6~No.9
- 小児科関連論文を1編以上
 - 査読制度のある雑誌、更新前5年間
 - 共著可
- 申請時期：年1回 3月


 This is a screenshot of the JPS Online Seminar website. The page is titled "JPSオンラインセミナー" and lists various seminars available for members. Each seminar entry includes a content number, a title, and a "View Details" button. The seminars listed are:

- 0. 小児科指導医オンラインセミナーコンテンツ (専門医の更新単位としては無効です。0番から順次にご視聴下さい。)
- 1. 医療者教育の基本
- 2. 到達目標の活用
- 3. 臨床評価法
- 4. 効果的なフィードバック
- 5. 症例要約の作成と研修手帳の活用
- 6. 研修評価表継続記録：Mini-CEX (診察能力評価)
- 7. 研修評価表継続記録：DOPS (臨床手技評価)
- 8. 研修評価法【観察記録：360度評価】
- 9. マイルストーン評価【小児科専攻医アクトカムの評価法】

 The page also features a navigation menu on the left with options like "HOME", "会員", "過去", "専門", "メール", "各種", and "Q&A".